

1998

2月号

FEBRUARY
No. 331

花と緑と水のまち



広報

みまた

雪が舞う長田峡

(1月23日撮影)



いきいきさん (19)

生き甲斐づくりは、 自分への挑戦から

梶原恒夫さん

稗田に住む梶原恒夫(75)さんのモットーは、いろんなことに挑戦すること。それは、日曜大工やペンキ塗りをはじめ、書道、油絵、彫刻、盆栽、囲碁、スイミング、カラオケ、ダンスなど多種多様な趣味にもおよびます。

梶原さんが、多くの趣味を持つようになったのは、奥さんの死が大きく影響しています。30年近くを東京で過ごし、その生活に別れを告げ、昭和52年、第2の人生を故郷の都城で過ごすそうと、隣接している三股町に移住。その10年後の昭和62年9月、永年連れ添ってきたクニ子さんが病に倒れ、急逝。「私は、苦境に立った時、それは私に与えられた試練だと受けとめて、生きてきました。ですから、妻との別れは、人生の大きな転機だと考え、今まで以上にその心を奮い立たせました。そして、これからは、楽しんで生きることを決意しました。それが、多くの趣味を持つ切っ掛けになったのです。」

数ある趣味のなかでも、自身が編み出した「浮き彫り」はとてもユニークなものです。それは、板に描いた文字や絵を糸のこで型通りに切り、あらかじめ装飾を施し

ておいた木材に接着して仕上げます。その作品は、自宅に、ところ狭しと掲げられています。

なかでも、床の間に飾られている掛軸に似せた「松花伴鶴飛」と書かれた作品は、ひととき目を引きます。その表装や台紙、文字は、すべて木製で、一見すると、本物の掛軸に間違えるほど精巧な作りになっています。流麗な文字は、くつきりと浮き出し、作品全体からは木の温もりが伝わってきます。「私は、新しいものを生み出すことに生き甲斐を感じています。浮き彫りもその一つです。あつ時ふと頭に思い浮かび、作ったのが切っ掛けです。」

梶原さんの挑戦は、趣味だけにとどまらず、町おこしにも手腕を振るわれています。高齢者の豊富な知識と高度な技能をいかして雇用の場を提供している「三股町シルバー人材センター」の設立や生涯学習教室にダンス講習を設けるよう提案されました。

「私は、命ある限り、いろんなことに挑戦していきたいと思っています」生涯学習の実践者といえる梶原さんの力強い言葉は、多くの方々に勇気とエネルギーを与えるのでしょう。

編集後記

大雪に見舞われた先月23日、取材のため小学校を訪ねてみると、子どもたちの目は輝き、雪合戦や雪だるま作りにはしゃいでいた。寒々としているいつもの姿はそこにはなかった。▼雪を憎んだ人はいない。側溝に車輪を落としている人や上り坂で車をスリップさせている人を見かけた。私も巻き添えをくい、渋滞に巻き込まれ20分ほど足止めを食らった。天からの贈り物は、有難迷惑だ。▼四季の中で、冬を好きだという人は少ないだろう。それは寒いのが大方の理由ではないだろうか。しかし、雪が降ると一転、特に、子どもは行動に表れる。いつもの、なかなか起きない娘も、「すごい雪だぞ」の一言で、飛び起きてきた。よし、しばらくはこの手も使えるぞ!▼最近、冷え込みが厳しいせいか、朝起きるのがつらい。少しでも長い間、ふとんの中にもぐり込んでいたい。草木が芽吹く暖かい春が待ち遠しい。

M・Y

三股町の人口

平成10年2月1日現在

男	11,320人	出生	21人
女	12,589人	死亡	18人
計	23,909人	転入	83人
前月比	+24人	転出	62人
世帯数	8,487戸(+11戸)		

訂正とお詫び

先月号の三股中学校創立50周年記念の記事において、式典の開催を12月7日と記載しましたが12月6日の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

一面、白銀の世界に

長田では、**8センチの積雪**

1月22日夜半から23日の午前中にかけて本町は記録的な大雪に見舞われ、多いところでは8センチの積雪を記録しました。

気象庁の発表によると、都城北諸地域の積雪は、昭和62年2月以来11年ぶりで、強い寒波に加えて、低気圧の通過による厚い雨雲の流れ込みによって発生したものだそうです。

この大雪のため、長田小学校は、早めに給食を実施し、午前中に児童を帰宅させたほか、三股中学校でも5時限で授業を打ち切り、生徒を下校させました。また、県道都城・北郷線もチェーン規制をするなど、町内いたるところで、車輛の交通規制がかけられました。

大雪でわいた23日の模様を写真で紹介します。



雪だるまをつくる子どもたち(三股小学校にて)



▲雪の綿帽子をかぶったわらこづみ



▲上米公園から見た町の景色



役場は積雪5cm▶



▲雪合戦ではしゃぐ
三股西小学校の児童



▲自動車も雪でまっ白に



▲椎八重公園は厚い綿を敷き詰めたようでした



▲坂道では車の渋滞が相次いだ



▲雪の中でも和牛品評会は行われました

永年功労者ら43名を表彰

平成10年消防出初式

平成10年の新春を飾る恒例の消防出初式は、1月14日、町議会議員や消防関係者、自治公民館長など来賓約150名の出席のもと、三股勤労者体育センターで開かれました。

式は、県内44市町村の出初式の最後を飾るもので、当初、岩下橋下の河川敷で予定されていたが、前夜から降り続いた雨が止まずに同センターに会場が変更。

式典は、厳粛な中進められ、団員の服装、規律を審査する通常点検（上位3つの部を表彰）や永年消防業務に功績のあった団員やその家族並びに退団者の表彰が行われました。

式典終了後、五本松公園南側の町道に消防車両10台を並べ、一斉放水を実施。雨の降りしきる中、団員は、意気旺盛な姿を披露し、来賓から大きな拍手を受けていました。



雨の降りしきるなか行われた放水訓練

出初式点検の成績

被表彰者 (敬称略)

- 【県知事表彰】**
第5部班長 野崎忠彦
- 【県消防協会会長表彰】**
（功績章）第4部部長 轟木一男
（精進章）第5部部長 朝倉勝昭・第3部班長 坂上敏彦・第3部団員 別府隆人
- 【県消防協会都支部長表彰】**
（優良の部）第7部小倉休幸以下16名（団員の部）第1部班長 出水健一・機動本部団員 西山雄治・第3部団員 久寿米木浩
- 【町長表彰】**
（幹部特別表彰）機動本部部長 原田 満（一般団員の部）第5部副部長 玉利通男・機動本部団員 松野良保・機動本部団員 隈元祥・機動本部団員 上水幸一郎・第3部団員 宮里和広・第5部団員 児玉浩一・第6部班長 中村三郎・第6部団員 東 辰己・第7部班長 川原正七・ラッパ隊員 堂領義満（15年以上勤続団員の妻）機動本部班長夫人 出水典子・第5部班長夫人 野崎真理江（退職報償受賞伝達）元第3部部長 山領三明・元第5部部長 川越流水
- 【団長表彰】**
第1部団員 足立綾夫・第2部班長 中村秀市・第2部団員 下西志浩・第2部団員 上村洋永・第4部団員 小林 悟・第4部団員 花岡 修・第4部団員 今村順一郎・第5部団員 岡林克利・第5部団員 小牧純七・第6部班長 山口善盛・第6部団員 新地国明・第7部団員 岡元輝彦・ラッパ隊員 福田哲己・ラッパ隊員 原口あつ子・ラッパ隊員 中西早苗・ラッパ隊員 亀井康代
- 【都城農業共済組合長表彰】**
第4部・第3部・第6部



気合いの入った通常点検

走ろう会に235人が参加

ファミリーの部で下石組が優勝



ピストルの合図で一斉にスタートする子どもたち



ゴール直前、ラストスパート

町教育委員会並びに町健康づくり推進協議会の主催による「第19回健康走ろう会」は、1月25日、中央公民館前をスタート・ゴールとするコースで開かれました。大会は、小学1年生から一般まで距離、性別、年齢など19種目に分かれて行われ、親子のファミリージョギングの部（1キロ）に出場した9組23人を含めて235人が参加して、健脚を競いました。選手は、自己新記録を狙う人、健康づくりのためマイペースで走る人など様々で、ゴール前では、詰めかけた観客から選手に大きな拍手が送られていました。

種目別の優勝者は、次のとおり
(敬称略)

【小1男子1km】	有村 翔平	4分19秒
【小1女子1km】	横山 沙季	4分48秒
【小2男子1km】	中村 誠	3分55秒
【小2女子1km】	岩崎 亜季	4分34秒
【小3男子1.5km】	大村 幸太	5分48秒
【小3女子1.5km】	椎葉 望	6分30秒
【小4男子1.5km】	福田 佑太	5分50秒
【小4女子1.5km】	福田 真菜美	5分55秒
【小5男子2km】	時任 英樹	7分36秒
【小5女子2km】	浅井 莉沙	8分25秒
【小6男子2km】	尾辻 裕一	7分28秒
【小6女子2km】	塩屋 有紀美	8分54秒
【中学男子3km】	八重尾 公一	10分27秒
【中学男子5km】	山元 博之	17分56秒
【中学女子2km】	竹之下 美香	8分31秒
【一般女子2km】	千田 美保子	9分22秒
【一般男子3km】	今別府 立郎	11分20秒
【一般男子5km】	高山 一也	17分43秒
【ファミリージョギング1km】	下石寅男・弥勇也組	4分35秒



ファミリーの部で優勝した下石親子

楽しさを実感!!

生涯学習元気祭りを開催



蓼池保育園の園児による太鼓演奏

「第2回「元気祭り」は、2月8日、勤労者体育センターをメイン会場に開かれ、たくさんの方々に参加いただきました。祭りは、多くの方々に、自発的意志に基づき、必要に応じて自己に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行う「生涯学習」への理解を深めてもらうと、町、町教委、地区公民館長、自治公民館長代表、民主団体の長で構成される町生涯学習推進協議会が主催したもので、大人から、子供まで幅広く楽しめるイベントを用意。「元気のやかた」と名づけられた同体育センターでは、特設ステージで、午前中、各地区の生涯学習教室（大正琴、民謡、舞踊、カラオケ、エアロビクスなど）の生徒によって、日ごろの練習の成果が披露されました。午後からは、町内の太

鼓グループなどによる演奏が披露され、会場の雰囲気は最高潮に達しました。なかでも、蓼池保育園の年長児11名の息のあったパチパチと歯切のいい音は、観衆の心をつかみ、大きな拍手が送られていました。

「創作のやかた」と名づけられた武道体育館では、竹や紙を使って遊具を作る「創作体験コーナー」や花の苗を鉢に植える実習や植物の健康相談に応じる「花づくりコーナー」、野草や果物などを使って押し花絵画を作るコーナー、不用になった衣類などをリフォームする公開講座が開かれ、訪れた子供たちから大人まで、講師の指導に真剣に聞き入っていました。

また、「学びのやかた」と



押し花絵画コーナー

名づけられた中央公民館では、中央地区の公民館教室の生徒による生け花や絵画、書道、ちぎり絵、パッチワークなどの作品が展示。鑑賞に訪れた方は、力作ぞろいを目を奪われていました。

一方、中央公民館広場に設けられた「国際交流ふれあい広場」では、国際交流員のジェーソンなど4人の外国人が「世界の生涯スポーツ」を開催。あらかじめ指定した標的に向けて、ふくらみのある直径約15センチの円盤型の玉を転がし、標的との距離の近さを争うイギリスのローンボールなど、ヨーロッパで楽しまれているユニークなスポーツを集まった子供たちに紹介し、一緒に楽しんでいました。



ステージでの舞踊披露

ひろがれボランティアの輪

豊かな社会づくりを目指して

町ボランティア推進協議会（会長 西田文夫）と町社会福祉協議会（会長 山元勝博町長）の主催による「第1回 ひろがれボランティアまつり」は、2月8日、町老人福祉セ

ンターで開かれました。まつりは、より多くの方々にボランティアの重要性を認識してもらい、明るく住みよい地域社会づくりを目指すものと開催されたもので、町内の

ボランティア団体などが協力の。会場の路地のフェンスには、小学校児童のボランティアに関する絵や町内のボランティアグループの活動の様子が納められた写真などが展示、紹介され、来場者は、しばし足を止め見入っていました。

同センター駐車場には、ボランティアの内容や相談に応じる「ボランティア相談コーナー」や障害者が作った置物などの展示即売コーナー、一般のチャリティーバザーが設けられ、にぎわいをみせたほか、「ハンディキャップ体験コーナー」では、多くの親子連れが車椅子や歩行機材を実際に使用して、障害者の苦勞を実感していました。また、「炊き出しコーナー」では、町日赤奉仕団によって、災害時に用いる救護用のご飯やみ

桑畑和男氏が収入役を退任



桑畑和男(66)

退任のあいさつ

去る2月7日付をもちまして、収入役を退任いたしました。退任にあたり、町民の皆様一言お礼の言葉を申し上げます。

不肖私は、平成7年2月に再拝命して丸3年、収入役通算7年半、職員の在職期間を

そ汁が作られ、来場者に無料でふるまわれました。その他、牛乳パックを使つてはがきを作る「リサイクル体験コーナー」や「リサイクル回収コーナー」も設けられ、環境問題にも触れていました。同センターの内部では、3回にわたってアニメ映画「木を植えた」が上映。荒廃しきつた不毛の土地に苗木を植え、数十年後には、森林がよみがえったという実話を映画化したもので、イベントにふさわしい内容でした。

午後からは、「みまたにひろがれボランティアの輪」と題して、都城市のウエルネス大使である天水藤平さんをアドバイザーに招き、町内のボランティアグループの代表4名による公開パネルディスカッションを開催。「心のゆとりを生み、豊かな地域社会を実現するためにボランティア活動を積極的に推進することを確認しました。」

これからは、一町民として、町政の進展のため、いささかなりとも尽力したいと存じますので、倍旧のご交誼を賜りますよう、宜しくお願ひします。

むすびに、町民の皆様、益々のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。退任のご挨拶といたします。

シリーズ 町の歴史

三股の50年を探る

(その10)

戦後、民主主義思想の高まりの中、社会教育の中心的役割をなう公民館の設置は、特に重要とされ、昭和21年7月、国は、公民館の趣旨や具体的設置・運営などの構想を明らかにしました。その3年後の昭和26年6月、社会教育と社会教育行政との関係を規定した「社会教育法」が制定。これに基づき、本町は30の公民館を設置しました。それから13年あまりが経過した昭和39年4月、行・教一致の地区公民館制度によって、30の公民館から7つの地区公民館に移行しました。昭和57年4月、第1地区公民館の人口及び世帯数が増加したことから3つに分割、9つの地区公民館になりました。平成4年4月、公民館のあり方が問われ、社会教育と自治活動を区分。28年あまり続いた地区公民館制度は廃止され、自治公民館制度の導入によって、29の自治公民館（現在30）を設置。同時に社会教育部門を受け持つ、9つの公立公民館が設置されました。今月号では、長田にお住まいの谷山利行さん(80)に公民館や給食センターのことについてお話を伺いました。



昭和39年当時の中央公民館

問 谷山さんは、昭和15年に三股村役場に勤務されたというのですが、当時の村役場について覚えていらっしゃるでしょうか。

谷山 当時の役場職員は、二十数名で、その内、女性職員は一名でした。その頃、兵事係という係があり、兵役対象者の名簿作成などを行っていました。今では考えられないことです。

問 公民館のことについて伺います。昭和26年に公民館が設置されましたが、現在と違う点はどういうところですか。

答。

谷山 当時は、・・・区と違って、現在の自治公民館とは区域が違っていましたが。例えば、梶山は、上梶山区と下梶山区に分けられていました。また、三島区、中央区などもありました。役場職員においては、30人の職員に、区の担当が与えられ、区の会合があるたびに連絡事項などの説明に向かっていた。その他、年2回「清潔検査」という行事があり、区の役員と担当職員は一緒に地域内の各家庭の清掃状況を検



現在の中央公民館で最初に行われた結婚式(昭和48年9月)

区の担当職員は、役場全体の業務内容や町の行事等について熟知していなくてはならず大変だったですね。

問 そのほかに、変わった出来事はございませんか。

谷山 中央公民館で結婚式が行われていたことでしょうか。昭和35年に教育委員会の事務局を置く「中央公民館」が現在のタイヨ―三股店の敷地の一角に建設されると同時に、中央公民館結婚式場使用規則が制定されました。当時、町は、虚礼廃止運動の一環として実施したのだと思います。

えてください。

それから公民館で式が行われるたびに委員会の事務職員は、そのお手伝いをしました。教育長は神主役、女性職員は神子役を受け持ちました。

披露宴に出される料理は、確か山王原や仲町の婦人部の方々が作っていましたね。

ちなみに、当時の挙式料は、五百円でした。今の金額に換算すると一万円程度ではないでしょうか。

問 谷山さんは、初代の給食センター所長と伺っております。昭和41年4月に、給食センターが建設された理由を教

谷山 一番の理由は、中学校が完全給食を始めようとしたからでしょう。それまで、各小学校は完全給食を実施していませんでした。どの小学校にも、調理場があり、そこで給食が作られていました。

しかし、中学校には調理場がなく、ミルクだけの給食だったのです。ですから、この際、1か所で給食を作った方が、人件費の面や栄養管理の面、材料を安く購入できるなど効率がよいということで建設されたのだと推測します。

当時、給食センターの建設は、県内でも珍しく、北諸の中では一番だったと思います。建物は、三股小学校の南端の一角に建設されました。

問 センター建設で、何か変わった出来事はございませんか。

谷山 一番変わったことと言えば、センターの隣に建設されたパン工場ですね。その頃、パンを作る技術者がいなかったために近くにあった「上西パン屋さん」にお願いして、工場の完成と同時に入っていただきました。

また、土曜日は、給食を作らなかったもので、その代わりに一般向け用のパンを作って販売していました。パンは、各学校のPTA役員や婦人部の方々などから注文をとりました。パンは、安くてうまいと好評でしたね。

問 センターで初めて給食を作った日のことを覚えていらっしゃいますか。

谷山 はい。生涯忘れることはできません。出来上がった三千三百食分

の給食は各学校ごとに容器に入れ、コンテナに詰め、2台の車で配送しました。センターを出発する車を調理員や事務員みんなで見送りました。

この時、「みんなおいしく食べてくれるかな」「残飯が少なければいいな」と心の中で祈っていました。

問 センターで一番気をつかった点といえば何でしょうか。

谷山 衛生管理の点ですね。一か所で給食を作るため、食中毒が一番怖かったですね。ですから、調理員の健康管理面を厳しくチェックしたり調理場の消毒なども徹底しました。毎日が緊張の連続でした。

問 現在、町では、三千三百食の給食が作られています。が、何かご意見などございますか。

谷山 一昨年、全国各地で蔓延したO-157は、学校はもとより給食関係者、保護者の方など大変心配だったろうと思います。幸い、三股町においては職



昭和45年当時の給食センターの調理場



■ 紙面国際交流コーナー ■

2 月

ジェーソン・ウィリアムス

網かけの部分が英文にしています。

中学生、高校生の皆さん英文を訳してみましょう！

先月は、この席から霧島山脈の尾根に雪が点々と積もっているさわやかな景色が見えました。一月の雪を見て、嬉しくてたまりませんでした。久しぶりに雪合戦も楽しめました。

私のイギリスの故郷では、今年は雪の兆しが一切なくて、三股のようにめったに降らないところです。

今月は、クリスマスと正月の休みにについて話したいと思います。

クリスマスの時期が近づくと、イギリスのことを懐かしく思ってしまう、年末から年始にかけて、しばらく帰ろうと思いました。

しかし、前に都城と山田町に国際交流員として勤めていたジョン・デイリーが『ニュー・ヨークにおいでよ』と誘ってくれたので、結局、両方のところに行きました。ニューヨークは、クリスマスの前に四日間ぐらいいました。初めての経験だったので、わくわくしました。

今まで、ニューヨークについて、いろいろとテレビや世間話で聞いたことがあり、『ゆとりがない、危ない、人がせかせかしている、ぶっきらぼうな言い方ばかり』とどちらかと言えば暗いイメージを想像していました。

しかし実際に行ってみて、現実がイメージとずいぶんかけ離れているということが分かりました。市街に出ると、どこも人々であふれ返り、まわりの景色に圧倒され、ぼう然と突っ立って眺めていると、通行人とぶつかることが多かったです。今回

は、相手が『ごめん』とか『いいよ』を笑顔で言ってくれました。たまに方向や名所について通りがかりの人に訪ねると、親切に教えてくれて世話になりました。

しかし、何と言っても生活のペースが速く、ここにはずっと住めないだろうなとつくづく思いました。ニューヨークの中心にセントラル・パークという巨大な公園があります。地元の人は『この公園のお陰で、ニューヨーク人は正気を保って、心身の健康状態が確保できる』と言っていたので、それを確かめるために行ってみました。そして、その通りだと思いました。どこを見て

も、大勢の人があらゆるスポーツや趣味を楽しんだりしていました。公園の大きさと上手な設計のせいで、ちょっと入ってから、町の中にあるとはとても思えなく、不思議な気持ちになりました。

実家で過ごしたクリスマスと正月は最高で、母の料理のお陰で太って三股に帰りました。年が明けてから、ジョンと彼のガールフレンドが実家に遊びにきました。前に宮崎県に勤めていた国際交流員達が集まって、懐かしい昔話をしました。

2月14日にヴァレンタインのプレゼントをもらった男性は、ちゃんと自分の役割を果たしてね！

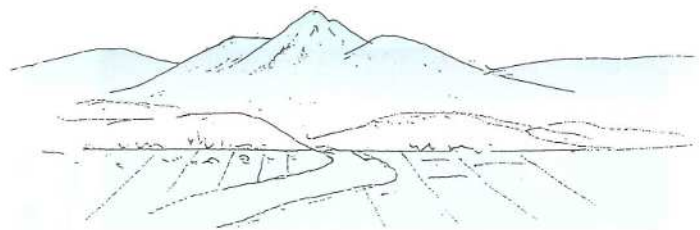
Let's Have a Go

From this seat last month I could see the refreshing scenery of the Kirishima mountain range's ridge dotted with snow. I was overjoyed to see the snow in January, and enjoyed a snowball fight for the first time in a while. In my hometown in England it seldom snows and there has been no sign of snow this year.

I would like to write about my Christmas and New Year's holiday. As it nears the Christmas season I recall fondly the English Christmas and I wanted to return home for a while.

However John Daly, previously the coordinator for international relations for Miyakonojo and Yamada town, invited me to go to New York. I eventually decided to go to both places. I stayed in New York for four days before Christmas and as it was my first time I was quite excited.

ふるさとへの便り



38年間を回顧して

山本 美保子

(旧姓 満丸 長田出身)

三股町の皆様、お元気でいらっしゃいますか、私、長田出身の山本美保子(旧姓 満丸)です。早いもので、今年で上京して38年になります。高校時代の修学旅行で、いところが皇居を案内してくれた帰り、丸の内のビル街で私は、卒業したら東京に行こうと決心しました。そして、その通り卒業後、心配してくれている母の気持ちも考えずに上京しました。

東京で就職、そして結婚致しまして、二人の子供に恵まれました。子育てに奔走し、夫と共に会社を設立し、無我夢中のうちにアツという間に時が流れた気がします。静かな山村で生まれ育った世間知らずの私ですが、すっかり東京での生活にも慣れ、友人もたくさん出来て「住めば都」の言葉通り暮らしています。さて、ここで私の趣味についてお話ししようと思います。私の趣味は海外旅行です。上京以来、



1月2日、ハワイにて

「生活」していくことに精いっぱい、ろくに趣味を持たなかった私ですが、約十年前程前に、シンガポールへ行く機会があり、それから、すっかり旅行の楽しみに取りつかれてしまいました。このころは、年1〜2回のペースで、中国やハワイなどに出掛けています。特にハワイは、南国の気候風

土がやはり私に合うのか、大好きなところなんです。もう少し、英語が理解できたら……また、ほんの片言でもいいから、話すことが出来る……旅行の楽しみがもっと増えるのに……と考えています。またこれからも、健康に気を付け、足腰を鍛え、また旅行に出掛けられるよう頑張っと思っていて、初めて海外旅行をした時は、勇気がいりました。38年前に上京した時も勇気がいりました。思えば、私のチャレンジ精神というのは、上京した時の気持ちの原動力

力となっていた気が致します。人生何をしてでも無駄になることはない。全てが勉強になったように思います。そして「帰るところ」のある幸せをしみじみと感じます。昨春秋、長田の母が92歳で永眠致しました。親戚の皆さんや、多くの方々に大変お世話になりました。亡き母への思いと、ふる里への思いをかさねあわせながらのごろです。

上京以来、このような原稿依頼の機会がなければ、ゆつくりと今までのことを振り返ってみることもなかったと思います。このような機会を与えて下さった在京三股会の幹事の方に心より感謝致します。

また三股在住の皆様、三股を遠く離れて活躍されていらっしゃる皆様、今後の御健勝と御繁栄をお祈りしながら、筆を置きたいと思っています。

今回は、大阪府河内長野市にお住まいの大峰昌一郎さん(宮村出身)にリレーします。

子どもの声を聞く会

(その3)

昨年開催されました子どもの声を聞く会の作文を紹介します。
最終回は、2名の中学生の作文です。

沖永良部研修に

参加して

三股中学校二年

下 沖 尚 子



から降りると、ガラガラと照りつける灼熱の太陽が私達を迎えてくれました。三股よりも太陽の輝きが違って、ものすごく暑かったです。そして、研修センターへ向かいました。島の畑の土は、三股の黒土と違って、土が赤っぽい色をしていました。土の色の違いは、土地の地形や気候、気温からきているのではないかと思いました。

私は今年の夏休み、五泊六日の沖永良部の研修に、ふるさと振興人材育成国内研修生として参加しました。三股町内の小学生24名、中学生6名、引率の先生方4名の計34名で、7月29日早朝、鹿児島空港から、沖永良部島へと出発しました。

これからの三泊四日は研修センターで過ごしました。朝は、みんな外に集まって、朝の集いをし、日中は、いろいろな見学地をまわりました。見学地は主に和泊町中心の名所でした。その中で心にのこっているのは、サンサンテレビスタジオと、田皆岬と、昇竜洞です。

まずは、サンサンテレビスタジオ見学です。私は、テレビスタジオに行くのは、今回が初めてだったので、何があるのか、どんなことをしているのかなど、とても興味がありました。スタジオに入ると、いろいろな器具がありました。それに、テレビが何個もあって、そのテレビには、いろいろな映像が流れていて、ビデオを編集している人もいました。

屋のみんなと過ごすという、規律正しい生活を送りました。そして私は、集団生活の中で、時間を見て行動することを選びました。今まで、修学旅行などに行ったことがあるけど、その時は同級生どうし教え合ったり、私よりも年上の人が指示したりして、行動していました。でも、今回は、班の中で、中学生は一人です。あとは、小学生でした。部屋の中で時間を心配するのは、私だけで、みんな、私が言うまで遊んでいます。

るのは初めてなので、心配でした。私がお世話になるのは、「名越さん」という家族でした。その家族の中には、私より一つ下の、中一の女の子がいて、その子の友達と一緒に宿泊しました。そして、みんなで、港まつりに行ったり、海水浴に行ったりして、とても楽しい二泊三日が過ぎました。やはり、人の家と自分の家は違うので、どこに何があるかと分からなくて、勝手が違うから、過ごしにくかったけど、時が経つにつれて、ホームステイの家族とも、コミュニケーションがとれてきて、しだいに過ごしやすくなってきました。

別れの時は、すごく悲しかったんです。何だか五泊六日という旅は、私にとって、何かとてつもなく大きなものを会得したような気がしました。何を会得したのか、はっきり分からないけど、五泊六日で会得したものを、これからの生活に生かしていこうと思います。

自分自身に胸をはって

三股中学校三年

山 崎 治



の人が見て、「この人のこういう所いいなあ。」などと感じられることが多いのですが、その良さに気付いてもらえない人もいます。それがイジメにつながっていることさえあると思うのです。

その場のふんいきに流されて、自分の言いたい事が言うことが出せないことがあります。これからは、どんな自分の意見を出して自分をアピールしていきたいです。

けとめてくれる生徒のいる学校にしていきたいです。どんなに自分に自信がなくても、必ず良い所が人にはあるということを考えさせられました。

るのではなく、たがいに協力しあっていける仲間がいる学校にしていきたいと思っています。

最後に、自分は山崎治だと胸をはって言える、そんな人になりたいです。

歳時記

啓 蟄

朝のテレビ番組で、アナウンサーが「おはようございます。今日は啓蟄。穴ごもりしていた虫が這い出す季節です。ね」と言うのを聞いた子どもが、「お母さん、またゴキブリが出てくるんだね」と言ったとか。

都会のマンションに住み、道路も校庭も舗装という生活をしている子どもには、虫と言えばゴキブリなのでしょう。

啓蟄の啓は開くという意味。蟄は虫が地中にこもる様子や、その虫のことをいいます。この蟄という文字は蟄居などというときにも使います。

啓蟄は、暦を二十四の季節に分けた二十四節気の一つで、新暦では三月五日か六日

に当たります。地虫などが冬眠を終えて穴から出てくる季節というわけです。

しかし、南北に長い日本では、地域によって虫が冬眠を終わる時期も違います。虫が出てくるのは明け方の気温が五度くらいになったときといわれますから、九州では三月ごろ、北海道ではそれより二か月程度遅いようです。

この季節は虫が穴から出てくるだけでなく、草花の緑も鮮やかになってきます。三、五月は「国土緑化キャンペーン」です。森林はわたしたちの暮らしに潤いを与え、国土を守り生命をかくむ地球の財産であり、山崩れや風水害を防ぐ役割を果たしています。



献血協力にお礼

1月26日、山元町長は、都城東高等学校（二見厚雄校長 生徒945名）を訪問し、平成9年度の献血協力に対してのお礼を述べました。

同校は、その日、今年度最後の献血日で167名が協力。昨年6月と10月の献血者を含め563名が協力しました。

山元町長は、「生徒の温かい心は、社会に大きく貢献しています。これからもボランティアを通じて、心温かい人に育っていただくよう希望します」と述べました。

その後、1年間の協力に対するお礼として、船木哲理事長に金一封を贈りました。

おじいちゃん、おばあちゃん

いつまでも元気でいてね!!

宮村小学校（宮園寛校長 児童109名）の6年生児童23名は、1月27日、デイサービスセンターで、施設を訪れていた高齢者とのふれあい会を行いました。

この催しは、福祉教育の一環として、同小学校が平成元年度から毎年1回行っているもので今回で9回目。約2時間、児童らは、肩たたきのサービスやお話、俳句の作品を発表したほか、高齢者の方々から、お手玉を教えてもらうなど有意義なひとときを過ごしました。

児童の一人、尾崎正敏くんは、「おじいちゃんやおばあちゃんが喜んでくれて大変うれしいです」と感想を述べました。



人とのふれあいについて熱弁

活力ある町づくりを進めようと、毎年1月に開催している恒例の「新春懇談会」は、1月8日、議員や農業委員、自治公民館長、民主団体の長など約100名の出席のもと町老人福祉センターで開かれました。

懇談会では、現在、ラジオの生トーク番組でお茶の間の人気をさらっている日本教育心理学会員の富永英雄さん（現 宮崎女子高等学校講師）が講演。「人と人のふれあい」をテーマに、家庭や学校、職場、地域における人間関係について具体例をあげて紹介し、ふれあいの原点は、相手を認めることを強調されました。

富永さんの親身のある話に、出席者は真剣に聞き入っていました。

厄払いの記念にテントなどを寄贈

今年、本厄を迎える昭和32年4月から33年3月までに生まれた上米、中米、谷、櫛田の出身者の男性で構成した櫛山厄年会（会長 中石健二 会員28名）は、厄払いの記念として、第2地区公民館にテント2張りと沙羅（しゃら）の樹木を寄贈。その贈呈式を2月3日の正午、自治公民館長や公立公民館長ら5名を招き、同公民館で行ないました。

また、その夜は、会員が用意した約200発の花火が同公民館広場から真冬の夜空に向けて打ち上げられ、季節外れの鮮やかな花火を一目見ようと多くの見物人が押し掛け、にぎわいをみせていました。



409人が大人への旅立ち

1月5日、三股勤労者体育センターで平成10年成人式が行われ、男性217名、女性192名が大人の仲間入りをしました。

式では、山元町長から成人者を代表して新坂肇さんと吹上恵美さんに成人証書と記念品が手渡されました。

その後、別納恵さんが「社会人としての自覚と責任を持ち、自分の夢に向かってしっかりと歩んでいきます」と力強く誓いの言葉を述べ、引き続き、野口理恵さんが「成人を迎えるにあたって」という題で意見発表を行いました。

会場に集まったほとんどの女性は、華やかな振袖衣装を身にまとい、友人との再会に喜ぶ場面があちこちで見られました。

永井さん、自治大臣表彰を受賞

東原にお住まいの永井宗高さんは、永年の監査事務功労が認められ、このほど自治大臣表彰を受賞。1月20日、町長室で伝達されました。

永井さんは、昭和56年8月から平成5年9月までの3期12年2ヵ月の間、町監査委員を務められました。

山元町長は、表彰状を読み上げ、伝達した後、「長い間、町監査という要職を務めていただきありがとうございます。今回の受賞は、そのご功績が認められたもので、改めて敬意を表します」とお礼を述べました。



ひまわりの会新春懇談会

1月25日、町老人福祉センターで、知的障害者「ひまわりの会」主催による新春懇談会が開かれ、保護者や町議会議員、民生委員など110名でにぎわいました。

会では、今年成人を迎えた安田幸彦さん（農業手伝い）と蔵元弥生さん（会社員）に安岡助役から成人証書が手渡されました。また、通所生からは花束と記念品が贈られ、出席者から大きな拍手を受け、二人は大変感激している様子でした。

その後、通所生のハーモニカによる「ふるさと」など3曲の演奏や卒業生による歌など盛り沢山の演し物が披露されました。最後は、生徒と出席者全員で「手のひらを太陽に」を合唱し、楽しい雰囲気の中終了しました。

収穫を楽しみに

町たばこ耕作振興会（飯田四夫会長、会員27名）は、1月26日、宮ノ原共同育苗センターで、生産者共同の葉たばこの種まきを行いました。

種まきには、生産者、山元町長、JA関係者など約70人が参加。種子は、約1週間ほどで発芽し、2月後半には各生産者のハウスに移植、3月半ばに作付けされます。収穫は、5月初旬から7月末にかけて行われます。

なお、同振興会の昨年の葉たばこ作付面積は、39.8ha、総生産量は125.7t、生産額は約2億7千2百万円で、今年の作付面積は、約41.9haを予定しています。（種は、微粒子のため水と共にジョウロでまきます。なんと、10a当たりわずか4.5gの種で充分だといえます。）



図書室

だより



No 118

おすすめの1冊

～ぜひ1度読んでみては～



【一般向】

あなた、男の鑑定できますか

野村 沙知代

長い人生を共に歩く伴侶を探すなら手近な男に飛びつくのはやめて本当にその人と一緒にいる事が自分の幸せかどうか冷静に見つめなければなりません。ホンモノの男をみつける17のチェックポイントを紹介。



【一般向】

血を吸う花嫁

赤川 次郎

公園で、女性が血を抜かれて殺され、彼女の兄も異常にやせこけたあげく自殺したという。二人の死の鍵を握るのは、「香川ひとみ」という名の女性。女子大生・亜由美が事件解決に乗り出す。



【児童向】

母をたずねて三千里

エドモンド・デ・アミーチス

お母さんに会いたい！イタリアのジェノバからアルゼンチンへ、果てしなく続くマルコの旅。少年マルコの愛と勇気の物語で感動を呼んだ、名作アニメーションの絵本化。

その他にも、一般向259冊、児童向118冊を新しく入れました。

○新刊情報は、ハローダイヤルで

毎月300冊前後の本を購入していますが、広報紙では3冊までしか紹介できません。そこで「ハローダイヤルみまた」では、新刊図書をお知らせするサービスを行なっています。

ただし、電話による情報は一部の新刊図書の紹介で、FAXは、すべての新刊図書の紹介です。

■ハローダイヤルみまた

☎27-7100 (FAX共通)

(図書館サービスコード 1833)

○3月の休館日

1日・3日・4日・10日・11日・16日・18日・

24日・25日・31日・

○映写会の開催

毎月恒例の映写会を下記のとおり開催いたします。

■日時 3月14日(土) 午後2時より

■場所 中央公民館2階

■対象 幼児・小学生

○図書室の利用時間が変わります

現在(10月～2月)の利用時間が9時から17時ですが、3月～9月は9時～17時30分となります。

○雑誌の貸出しもやっています!

現在、26種類の雑誌を購入し、最新号以外については貸出しも行なっています。

ぜひご利用ください。



最優秀賞に

はたなかさんら15名

今年度の読書感想文・感想画コンクールは、応募多数の中から95点の入選作品が決定しました。

最優秀賞の方々を紹介します。(敬称略)

【読書感想文の部】

〈最優秀〉

ちっちゃなできごと	三股西小1年	はたなかあさみ
「ビビとべないホテル」をよんで	三股小2年	のざき さなえ
「大五郎は天使のはねをつけた」	三股小3年	あさい たくや
「マザー・テレサ」を読んで	梶山小4年	銅倉 香葉美
麻薬探知犬シェリー	宮村小5年	坂元 美香
「母さんばくに光をください」を読んで	勝岡小6年	野崎 真里
「夏の庭」を読んで	三股中1年	黒木 智子
「3人姉妹 自分らしく生きること」	三股中2年	高野 千尋
「遠い国から来たC.O.O」を読んで	三股中3年	壽山 敬久

【読書感想画の部】

〈最優秀〉

きかざったカラスを読んで	三股西小1年	田中 しげと
「となりのトトロ」を読んで	三股西小2年	大村 しおり
母ちゃんなんて大きらい	三股小3年	下石 れいか
おばあさんのどんぐりパンを読んで	三股小4年	荒武 瞳
ごめんねナチ	三股西小5年	森本 真梨子
北の空へ	三股西小6年	天神 珠梨

シリーズ 健康管理 ④

「コレステロールについて」 (その2)



元 三股町国民健康保険病院
内科医 松尾 剛志

何故、コレステロールの高値が悪いのでしょうか?

答えは、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の発症率を増加させるからです。

虚血性心疾患の危険因子は、肥満、脂質代謝異常、高血圧、糖尿病、喫煙、年齢、性別と言われています。そのなかで、虚血性心疾患の有病率および死亡率ともに高い欧米では、早くから虚血性心疾患とコレステロールの関係に注目していました。そのため、早くから大規模な疫学調査が行われてきました。その結果、虚血性心疾患が発症する危険性はコレステロール値が180mg/dlに達したあたりで上昇の兆しを見せ始め、200～240mg/dlを上回ると加速度的に増大していく事実が明らかになっています。そのため、虚血性心疾患の発症予防のためには、コレステロール値を低下させることが重要であると推測されます。実際、これが臨床上正しいということを示すデータが最近になりいくつも公表されてきました。これらのデータは、コレステロール値を低下させることが虚血性心疾患の発症予防ならびに再発防止においてさえも非常に重要であることを明確に示しています。

では、コレステロール値を低下させる方法としては、何があるのでしょうか? それには、食事療法、運動療法および薬剤投与があります。薬剤では現在非常にすばらしい薬が出現しており、かなり容易にコレステロール値を低下させることができます。しかしながら、そのみに頼って食事や運動療法をなおざりにしては、何にも

なりません。やはり、基本は食事および運動療法です。食事療法の基本は5つに集約されます。

- (1) カロリー制限をして肥満から脱却しましょう。肥満克服は本シリーズの第2回に紹介しております。
- (2) 動物性脂肪より植物性脂肪を多く取るようにしましょう。
- (3) コレステロールの多い食事は避けましょう。コレステロールの摂取量は1日300mg以下が理想です。卵黄は1個約210mgものコレステロールを含有しています。そのほかコレステロールの多い食品としては、バター、しらす干し、うなぎ、すじこ、たらこ、いか、うに、あまえびなどです。
- (4) 食物繊維をたくさん食べましょう。食物繊維の多い食品としては、さつまいも、豆類、ごぼう、パセリ、ブロッコリー、ひじき、かぼちゃなどです。
- (5) アルコールの飲みすぎは禁物です。日本酒なら1合、ビールなら1本、ウイスキーならダブル1杯が限度です。ただしアルコールを飲まない日を作りましょう。

一方、運動療法の基本は、無理な運動をせず、普通の歩く早さより少しだけ早足で、できるだけ毎日行うことです。始めは、1日10分から始め、徐々に時間を延ばして、毎日30分～1時間行うようにしましょう。心拍数は毎分120を超えないようにしましょう。

今回は、高血圧について紹介します。





郵便

役場の郵便番号が

〒889-1995に変わりました

平成10年2月2日の新郵便番号の実施に伴い役場の郵便番号は、〒889-1995の専用番号に変わりました。

郵便番号が明確に記載してあれば、住所を省略することができます。

◎問い合わせ

役場総務課 秘書広報係

☎52-1111 (内線222)

教育

ご利用ください

奨学金制度

三股町奨学生制度

町では、下記のとおり奨学生を募集します。

◎対象(資格)者

4月1日現在、三股町に1年以上居住する者の子弟で、学校教育法による高校・大学・短期大学及び修業年限2年以上の専修学校(専門課程)に進学または在学し、人物、学業共に優秀かつ健康で、学資の支弁が困難である者。

◎採用予定人数

高校生(高専を含む) 5名
大学生(短大・専修学校含む) 15名

◎貸与月額

高校生 8,000円
高専生 8,000円
専修学校生 18,000円
短大生 18,000円
大学生 18,000円

◎貸与期間

平成10年4月から正規の就業年限終期まで

◎申し込み期間

4月9日(木)～4月23日(木)

◎問い合わせ先

町役場学校教育課

☎52-1111 (内線342)

都城市奨学生制度

(財)都城育英会では、下記のとおり奨学生を募集します。

◎対象(資格)者

都城・北諸県郡内に在住している者の子弟で、4月に文部省所管の大学、短期大学、専修学校(都城コンピューター専門学校、都城情報処理専門学校、都城歯科衛生士専門学校、都城文化服装専門学校のみに進学する者で、学資の支弁が困難である者。

◎採用予定人数 30名

◎貸与月額

短大生 30,000円
大学生 30,000円
専修学校生 30,000円

◎貸与期間

平成10年4月から正規の就業年限終期まで

◎申し込み期間

4月10日(金)～4月23日(木)

◎問い合わせ先

(財)都城育英会事務局

☎23-9544

国の教育ローン

政府系金融機関の国民金融公庫では、下記のとおり教育融資を行います。

◎融資金額

学生・生徒1人につき200万円以内

◎融資利率

年2.5%(固定)
(平成10年1月5日現在)

◎返済期間

8年以内(措置期間は在学期間内で最長4年)

◎問い合わせ先

国民金融公庫宮崎支店

☎0985-23-3274

年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険および国民年金に10年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低金利で借りることができる制度です。

また、この貸付は、国民金融公庫の一般教育ローンとしての併用もできます。

◎融資金額

学生・生徒1人につき
厚生年金加入…100万円以内
国民年金加入…50万円以内

◎融資利率

年2.5%
(平成9年11月10日現在)

◎返済期間

8年以内(措置期間は在学期間内で最長4年)

◎問い合わせ先

(社)宮崎県年金福祉協会

☎0985-28-2961

財形教育融資

雇用促進事業団では、財形貯蓄をしている勤労者にご本人またはご家族が、進学や在学中に必要な教育資金の融資を行っております。

◎融資の対象となる費用

入学金、授業料、教科書代、下宿等居住費用など

◎融資の対象となる教育施設

高等学校、短大、大学、専修学校、各種学校など

◎融資額

財形貯蓄残高の5倍以内で、10万円以上450万円まで

◎返済条件

融資利率 年3.51%
(平成9年10月1日現在)

返済期間 8年以内

◎申し込み

財形教育融資業務取扱店の掲示のある銀行等金融機関

◎問い合わせ先

雇用促進事業団宮崎雇用促進センター

☎0985-22-0771

募集

県立宮崎東高等学校

通信制生徒募集

働きながら高校の資格を

現在、県下各地で約1,000名の年齢や職業もさまざまな人たちが学習に励んでいます。中学校卒業かそれと同程度の学力があれば誰でも入学でき、原則として3年以上の学習で高校卒業の資格が取得できます。

また、全日制や定時制を中退した人には、相当学年編入の道もあります。

◎資格

・平成10年3月中学校卒業見込みの者
・中学校を卒業した者
・中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

◎募集人員 普通科300人

◎願書受付

新入学 3月27日(金)まで
編入学 3月25日(水)まで

◎問い合わせ

〒880-0056 宮崎市神宮東1-2-42

県立宮崎東高等学校 通信制

☎0985-27-7794

FAX0985-32-1109

催し

第11回町文化合同展

日ごろ、生涯学習主催教室や町内の各教室などで学習している方々の作品を一同に展示いたします。

ご近所、お知り合いの方をお誘い合わせのうえ、お気軽にご観覧ください。

■会期

3月1日(日)～3月8日(日)

■場所 町中央公民館

■展示物 絵画、書道、陶芸、華道、手芸などの作品

■問い合わせ 生涯学習課

☎52-1111

きりしまんぢだ

(1市6町の行事の紹介)

●都城市

○'98プロ野球オープン戦

広島 vs 近鉄

■試合日時

3月1日(日)午後1時～

■場所 都城市営野球場

■問い合わせ 都城観光協会

☎23-2754

○福祉まつり

■期間 3月7日(土)・8日(日)

■会場 都城市社会福祉センター

都城市民会館

■内容 ふれあいステージなど

■問い合わせ 市社会福祉協議会

☎25-2123

●山之口町

○村おこし朝市

■日時 3月8日(日)午前7時～

■場所 J R山之口駅前広場

■内容 新鮮農産物販売

■問い合わせ 役場企画開発課

☎57-3111

●末吉町

第15回吉井記念末吉町洋画展

鹿児島展

■会期

3月31日(火)～4月8日(水)

■会場 鹿児島歴史資料センター
黎明館

■問い合わせ 役場社会教育課

☎76-1121

●第3回たからジョギング大会

■日時

3月8日(日)午前9時30分

■場所

たから温泉センター周辺

■内容 ファミリージョギング他

■問い合わせ 役場社会教育課

☎72-1111

一愛のご寄付一

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおり頂きました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

平成9年12月1日から平成10年1月31日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
園田 稔(父)	秀影	99	梶山	10万円
久保 スミエ(夫)	光雄	80	稗田	3万円
野崎 ミヨ子(夫)	薫	74	小鷲巣	1万円
田中 小波(夫)	康稔	81	山王原	50万円
山中 クニ(夫)	哲夫	80	東植木	3万円
木下 ツルエ(夫)	好夫	74	中米	3万円
坂元 久子(母)	今村マス	95	餅原	5万円
柳橋 逸郎(母)	ヤスミ	83	仲町	3万円
大峰 愿(母)	トキエ	87	小鷲巣	5万円
桑畑 綾子(母)	山内ユキ	81	東原	5万円
久保田 真一(父)	政武	81	藤木	3万円
瀬尾 忠義(母)	フミ	99	寺柱	5万円
園田 馨(母)	ツキ	89	山王原	5万円
島崎 カスミ(夫)	彦丸	78	下新	3万円
小林 実光(妻)	トシ	80	田上	3万円
中村 ツユ(夫)	一二	74	勝岡	3万円
田平 棟子(夫)	春雄	68	大野	3万円
森 篤美(母)	ミキ	82	下新	3万円